

デンマークの大学生

自国の文化紹介

海星学院高1年生と交流



室 蘭

登別デンマーク協会(上田俊朗会長)が今年受け入れたコペンハーゲン大学の学生が6日、室蘭市高砂町の海星学院高校(堺俊光校長)を訪れ、デンマーク語のあいさつを教えながら生徒たちと交流を深めた。

訪れたのは同大2年生のイエスパー・エルベック・イエンセンさん(21)。同校では昨年からのデンマークの研修生と交流している。

この日は1年生89人が総合的な学習の一環で交流。イエスパーさんは分かりやすい英語でデンマークを紹介。室蘭から「方角離れ」サッカーが国技。名物料理にフライドポテトとパセリソ

海星学院高校の1年生と交流するデンマークの大学生イエスパーさん(右)

ース添えがある。高い山はなく標高は150以下」などとアピールすると、生徒たちは驚きの表情を浮かべた。

デンマーク語の1、10を覚え、あいさつを交わし合うことを通して発音の難しさなどを実感。コミュニケーションが取れると笑顔が広がった。

積極的に話しかけた中村佳靖君(1年)は「良い体をしているので秘訣を聞いたら、ウォームアップしてしっかり追い込むことが大事と教わった。将来は海外に行きたいので発見があつてうれしかった」と語った。書道部と書道の体験もした。

登別市とデンマーク・ファボームッドフュン市は友好都市で、同協会は毎年研修生を受け入れている。イエスパーさんは先月25日に来日し、登別市内にホームステイ、9日に帰国する。

(粟島暁浩)